

首都圏自然歩道

千葉県 13

先住民のあるいたみち

起点 長生郡長南町(中之台) 9.5km
 終点 長生郡睦沢町(睦沢公民館入口)



中之台バス停

報恩寺

長徳2年(996)に開かれたといわれ、本尊は国指定の重要文化財の木造阿彌陀如来坐像である。梵鐘も県の文化財に指定されている。宗派は、真言宗豊山派である。

西光寺

西光寺境内に算学者吉野昌覚の墓碑がある。昌覚は、文化2年(1805)越後国に生まれ、江戸に出て関流(算学)の奥義を極めた。のち諸国を巡り、得度して僧となった。

西湖バス停

給田バス停

油殿古墳群

一宮川の支流、埴生川の北側、標高40mの独立丘陵上に位置し、前方後円墳2基、円墳2基からなる古墳群である。

第二倉庫バス停

能満寺古墳

県内最古の前方後円墳であり、西暦5世紀初頭の頃の築造と推定され、東日本における古墳文化発生期の古墳である。

睦沢公民館入口バス停

上之郷

凡 例

- 首都圏自然歩道
- 案内板
- バス停留所
- 路傍休憩地
- 公衆便所
- 寺
- チェックポイント(解説標識)

中之台バス停から、町道を5分ほどゆくと、右手に報恩寺があります。切通しの山あいの道を進み、なだらかな坂を下ると中原地区に入ります。左に丘、右に田園の平坦な道が続き、油殿古墳群があります。さらに南に進むと、能満寺です。森の中に能満寺古墳が見えます。能満寺古墳は、東国での古墳発生期(4世紀末~5世紀初頭)の古墳で、この時期の古墳としては、県内最大規模です。この森を下ると、睦沢町上之郷へと続きます。

平成二十八年一月(地図中の行政区分・名称が市町村合併等で変更されている場合がございます。ご了承ください。)

千葉県環境生活部自然保護課

